

柏工防災エンジニアコース

2011ボランティア活動

宮城県仙台市宮城野区

6月11日(土)



柏工防災エンジニアコース

2011ボランティア活動



宮城県東松島市

6月11日(土)



参加者 PTA 26名 生徒 44名 教員 6名

柏崎市では中越沖地震で被害を受けた時、全国の方々から暖かい支援を受けました。本校PTAの多くもその1人であり、「いつか恩返しをしたい」という強い想いがありました。防災エンジニアコースの活動を知り、前PTA会長を中心に行きあわせて全員に協力を呼びかけたところ、予想以上の希望者が集まりました。人数が多くなりすぎたため、防災エンジニアコースの生徒は東松島市のボランティアセンターに申し込むこととなりました。



防災エンジニアコース PTA 1名 生徒 14名 教員 3名

東松島市で住宅街の側溝の泥出し作業をしました。地盤がとても多くのボランティア団体が集合して一緒に作業をしました。ここは海岸からは相当離れた場所の筈ですが、1m近くまで水の跡が残っていました。庭や道路のゴミはなくなっていましたが、側溝は泥が堆積し、排水機能を失っているようでした。作業終了後に家族がでてきててくれて、お菓子を配ったリタオルを貰してくれたりしながら「ありがとう」と言ってくれたときとても嬉しくなりました。



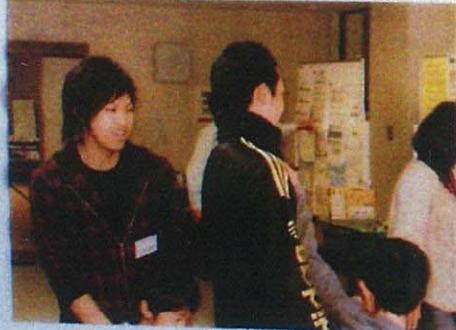
柏工防災エンジニアコース

2011ボランティア活動



新潟県刈羽村避難所

3月21日(月)~4月6日(水)



今できる
ことを

今すぐ 行動する

防災マインド!

柏工防災エンジニアコース

2011ボランティア活動



宮城県仙台市宮城野区

4月29日(金)・30日(土)



参加者 防災コース3年生5名・2年生4名 教員5名

29日は午後3時頃に到着し、ボランティアセンターに新しい用具の清掃、片付け、体育館の清掃などをしました。地震の被害によるライフラインはほぼ復旧していましたが、ほんの少し離れた津波被害地域では、仙台市中心部の様子からは想像できないほど悲惨な状況で、TV映像を遥かに超える津波の恐しさを知ることができました。30日は津波被害を受けた農家へ移動し、救地内に建てられたビニルハウス内の泥やその周辺に堆積した泥の除去作業をすることになりました。



柏工防災エンジニアコース

2011ボランティア活動



長野県栄村

3月27日(日)

参加者 防災コース3年生12名・2年生3名 教員3名、
前PTA会長・副会長

3月12日午後4時、長野県栄村では震度6強の地震が発生しました。東日本大震災との因果関係はないようですが、地元では大きな被害にみまわれました。注目度の違いでしょうか?ボランティアの集まりが不足している様子。本校にある防災エンジニアコースへ(社)中越防災安全推進機構からボランティアの要請がありました。当日は雪の中、被災現場から運ばれる震災ゴミの分別作業を手伝いました。



柏工防災エンジニアコース 2011ボランティア活動



新潟県三条市

8月6日(土)



参加者 10名 防災コース 3年生 7名 教員 3名

三条市では平成16年以来の大水害が発生しました。柏崎工業高校はいち早く現地へ向かい被災住宅の泥出しボランティアをしました。前回の経験から中心部では被害が少なくなっていましたが、いたるところで被害を受けた地区がありました。本校が担当した地区は、水が溢れやすい地区で毎年水害は経験してきたそうですが、「今年の雨は異常だった。」と言っていました。近年増えたゲリラ豪雨に対する備えが万全とは言えない所が多数あります。



柏工防災エンジニアコース 2011ボランティア活動



福島県只見町

8月25日(木)・26日(金)

参加者 防災エンジニアコース 2年生 19名 教員 2名

昨年は、防災合宿という学習合宿を実施しましたが、今年度は実際に現場に向かいボランティア活動をしました。只見町水害の状況は三条市よりも悪く、現地は道路や鉄道など多くの交通機関も影響が出ているせいかボランティアの集まり難い場所でした。被害というのは地域、種類、大きさによって状況は全く変わることを知りました。25日の夜は我々も豪雨に見舞われました。翌日は晴れたのですが現場が危険となり、屋内作業を手伝ってきました。



柏工防災エンジニアコース 2011ボランティア活動

宮城県気仙沼市

7月30日(土)・31日(日)



参加者 防災エンジニアコース3年生7名 教員2名

自立型のボランティア活動の経験を積む取り組みとして、テント、寝袋等の宿泊装備を持ち込みボランティア活動をしました。指定されたテントサイトは古い小学校の校舎が利用されていて水道・トイレの他、教室などが食堂として解放されていて宿泊しやすい場所でした。他にも広島から駆けつけ長期宿泊していたボランティアの方と話す機会にも恵まれました。翌日移動し、海岸に近い民家の床下に溜まった泥を取り除く作業と瓦礫などを片付ける作業をしてきました。



柏工防災エンジニアコース 2011ボランティア活動

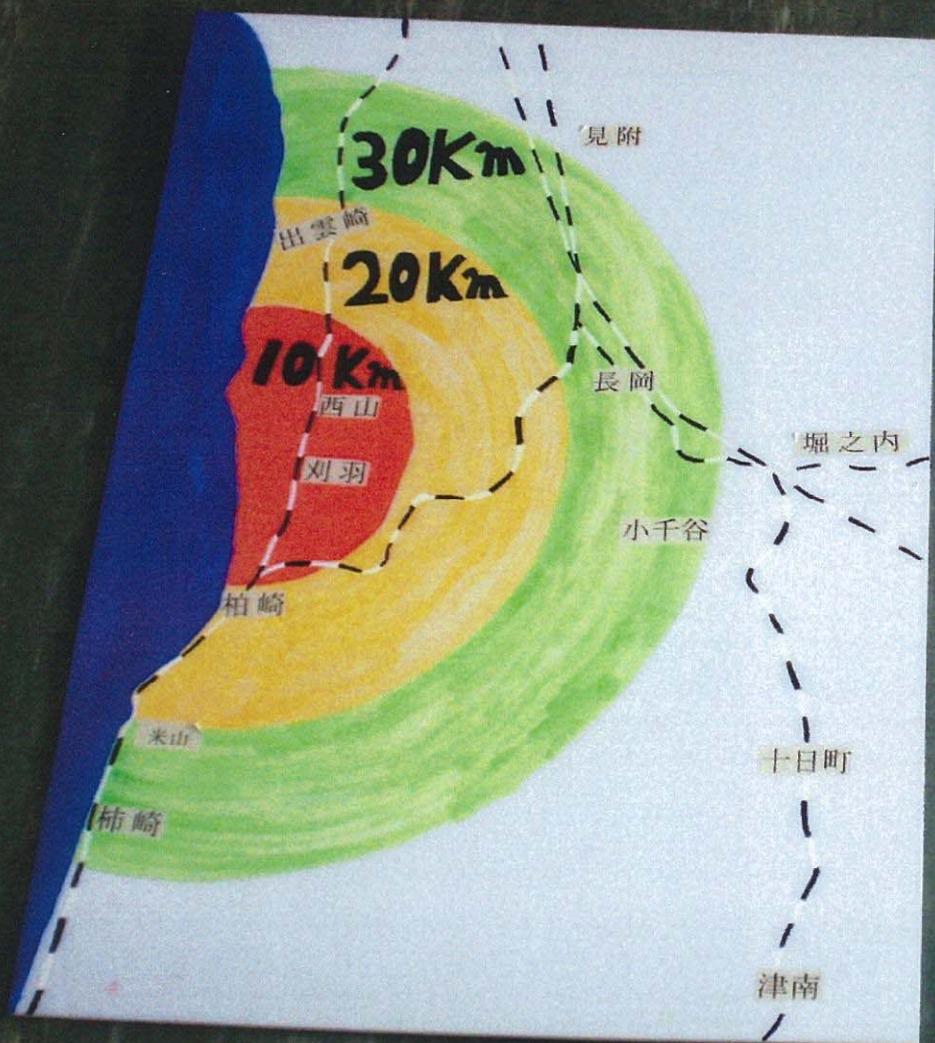
宮城県気仙沼市

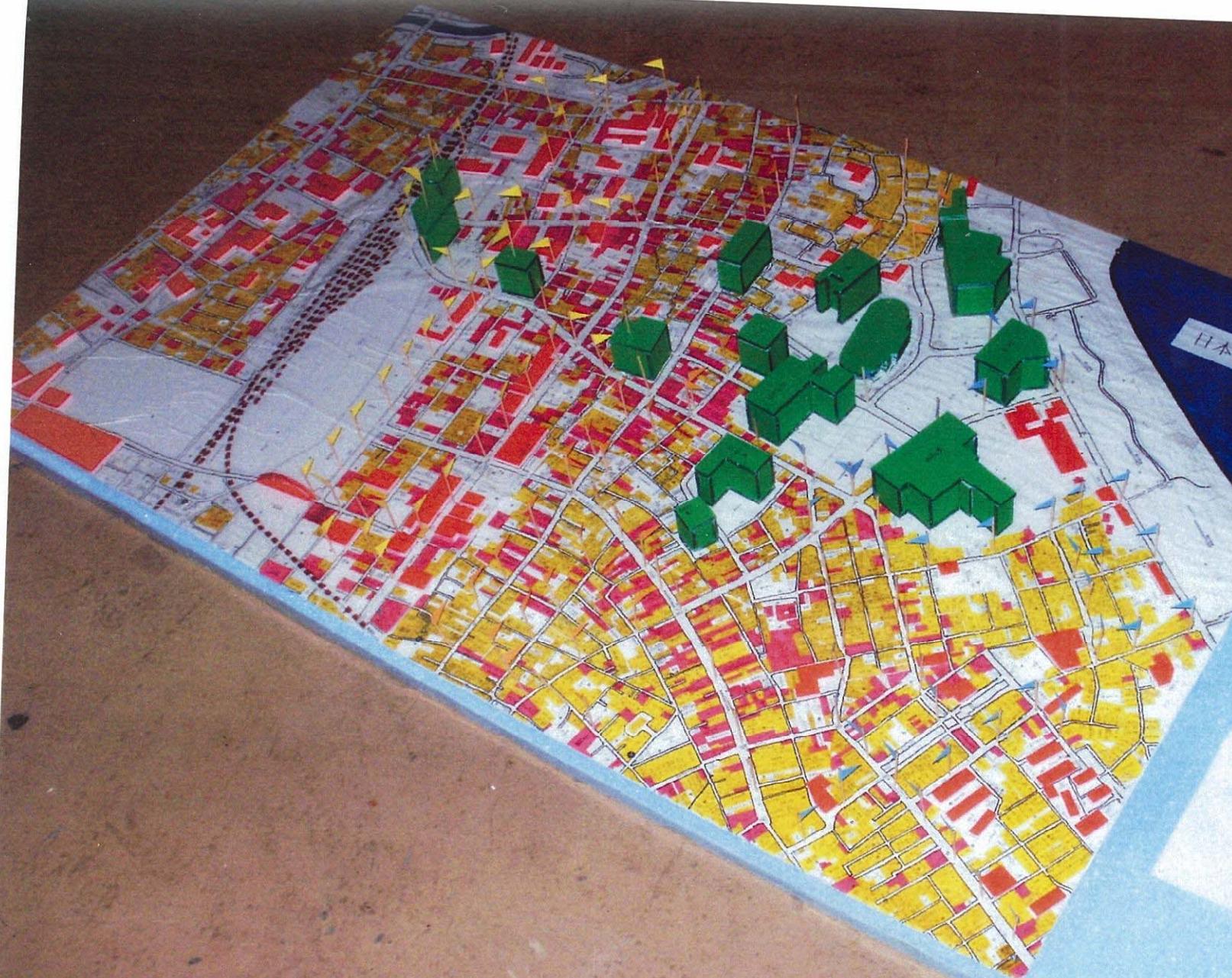
7月30日(土)・31日(日)



気仙沼市でのボランティア活動は唐桑津といふ港へ一晩二
メートルしか離れていない海岸沿いの住宅にて、海岸近く
ため池の家屋は全壊して流れ踏切もありません。山側より
海岸側は全滅に近い状態で、残された家は「一地丸」で
描かれています。走出した家屋より山川の家は海水被害
から逃れました。港にあった（ひり集落）ある一戸の排水管
を鋤いて全部流され、現在ある20隻ほどの舟に手分けされ
ついているだけのものだそうです。漁師の方々には手元の
当日、危険を察知して海へ舟を出して救命艇を出してくれた







★ハザードマップ★
柏崎駅—柏崎工業

2011年度
課題研究
防災エンジニアコース

担当教員 五十嵐 晴夫
製作者 上野 雄大 増井 誠
塩川 勇太 田辺 純一
橋爪 大輔 町屋 哲也
柳原 康也



